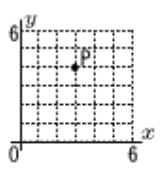
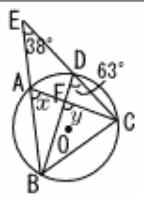
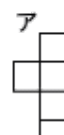
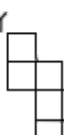


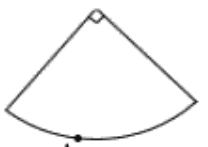
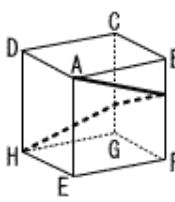




印刷して、紙の上でやってネ！

あ〜ちには、あてはまるものをそれぞれ答えなさい。

<p>1</p>	<p>(1) 😊 $-4 + 12 \div 2$</p> <p>(2) $a^2b \div 3a \times (-9a)$</p> <p>(3) $(\sqrt{7} + \sqrt{3})(\sqrt{7} - 2\sqrt{3})$</p>	<p>大小2つのさいころを同時に投げ、大きいさいころの出た目の数をa、小さいさいころの出た目の数をbとし、(a, b)を座標とする点Pをとる。</p> <p>例えば、下の図の点Pは、大きいさいころの出た目の数が3、小さいさいころの出た目の数が4のときの座標$(3, 4)$を表したものである。</p> <p>ただし、原点Oから点$(1, 0)$までの距離及び原点Oから点$(0, 1)$までの距離をそれぞれ1cmとする。</p>
<p>2</p>	<p>ある数xを2乗した数と、xを2倍した数との和は5である。</p> <p>(1) xについての方程式として最も適当なものを、次のア〜エのうちから1つ選び、符号で答えなさい。</p> <p>ア $x^2 + 2x + 5 = 0$ イ $x^2 - 2x + 5 = 0$ ウ $x^2 + 2x - 5 = 0$ エ $x^2 - 2x - 5 = 0$</p> <p>(2) ある数は あい $\pm \sqrt{5}$ である。</p>	<p>5</p> <p>また、さいころを投げるとき、1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。</p> <p>(1) 点Pが直線$y = x$上の点となる 確率は $\frac{\text{け}}{\text{こ}}$ である。</p> <p>(2) 線分OPの長さが4cm以下となる 確率は $\frac{\text{さ}}{\text{し}}$ である。</p> 
<p>3</p>	<p>次のア〜エのうち、標本調査を行うことが最も適しているものを1つ選び、符号で答えなさい。</p> <p>(1) ア 国勢調査 イ 川の水質検査 ウ 学校で行う生徒の歯科検診 エ A中学校3年生の進路希望調査</p> <p>袋の中に、同じ大きさの白い卓球の球だけがたくさん入っている。この白い球の個数を推定するために、色だけが違うオレンジ色の球30個をその袋に入れてよくかき混ぜ、そこから無作為に10個の球を抽出したところ、オレンジ色の球が3個含まれていた。</p> <p>(2) はじめに袋の中に入っていた白い球は、およそ えお 個と推定できる。</p>	<p>6</p> <p>図のように、4点A, B, C, Dが円Oの円周上にあり、弦BAを延長した直線と弦CDを延長した直線の交点をE、線分ACと線分BDの交点をFとする。$\angle BEC = 38^\circ, \angle BDC = 63^\circ$であるとき、</p>  <p>(1) xで示した$\angle BAC$の大きさは すせ である。</p> <p>(2) yで示した$\angle BFC$の大きさは そた である。</p>
<p>4</p>	<p>立方体の展開図として正しくないものを、次のア〜エのうちから1つ選び、符号で答えなさい。</p> <p>(1) ア  イ  ウ  エ </p>	<p>7</p> <p>図は、ある円錐の展開図の一部(側面の部分)であり、中心角が90°のおうぎ形である。</p>  <p>この円錐の展開図の底面の部分である円が点Aを通るとき、</p>
<p>4</p>	<p>右の図のように、1辺が3cmの立方体がある。この立方体の表面上、頂点Aから頂点Hまで、辺BFと辺CGを通るようにひもをかける。ひもの長さが最も短くなるときのひもの長さは か $\sqrt{\text{きく}}$ cmである。</p> 	<p>(1) 側面の部分であるおうぎ形の半径日面の部分である円の半径の ち 倍である。</p> <p>(2) 底面の部分である円の中心Oを作図によって求めなさい。また、中心Oの位置を示す文字Oも書きなさい。</p> <p>ただし、三角定規の角を利用して直線をひくことはしないものとし、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。</p>

